

尾
長
会
報**ともしび**

地域で作る福祉の町

発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 5,264 世帯

**平成 29 年度尾長地区連合町内会・
尾長地区社会福祉協議会 総会**

5月17日(水) あいあいプラザにおいて尾長地区連合町内会・社会福祉協議会の総会が開かれました。

平成28年度事業報告、決算報告が行われ、引き続き29年度の事業計画が承認されました。



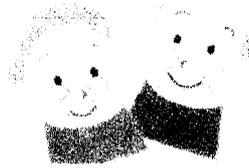
連合町内会の新たな取り組みとしては、

- ① 連合町内会会議(町内会・自治会会長会議)を年6回程度開催し、情報交換を図る。
- ② 高齢者交通安全モデル地区活動推進協議会事業の取り組み。

社会福祉協議会の事業計画としては、

- ① 「高齢者等見守りネットワーク in 尾長」事業の更なる推進を図る。
 - ☆見守り希望登録者の拡大
 - ☆見守り協力事業所、さりげない見守り協力員の拡大
 - ☆「救急医療情報キット」の設置に向けての啓蒙、拡大
- ② 「第3次福祉のまちづくりプラン」策定の推進を図る。
 - ☆活気あるまちづくり
 - ☆安全・安心なまちづくり
 - ☆支え合いのまちづくり

などがあげられました。

「高齢者等安心見守りネットワーク」情報

今年2月28日に行った「高齢者等安心見守りネットワーク研修会」では、参加者から、「尾長

の取り組みをあまり知らなかった」「詳しく聞けて良かった」「こういう活動は大切で必要だと感じた」などの感想があり、地区内での認知度の低さを痛感しました。そこで今回、総会の後で、各町内会や団体の役員等地域の中核の方たちに尾長の取り組みや現状の説明を行い、町内会・団体に周知してもらい、お願いし、「地域住民がもっと関心を持ち、必要性を感じる取り組みに繋げていきたい」との思いを伝えました。

高齢者には、「救急医療キットの利用申し込みの積極的な拡大」「電話での安否確認の登録利用」などを推進し、地域とのつながりを深めてもらうと共に、見守りの質を高めていきたいと思えます。更に、地域内では、協力員や協力業者の登録を増やし地域全体で「さりげない見守り」体制を上げたいとも思っています。

最近では病院・薬局・介護業者などから協力参加が始まりつつあり、「高齢者等に優しい尾長地区」として、安心して、住みやすい町づくりを展開して行きたいと思っています。最後に、二葉地域包括支援センターの担当者から、尾長地区内での、このネットワークの成果事例を見てもらい説明を終えました。

今後は、「ボランティアバンク」の活動も展開していく計画を進めています。より一層の地域力を強めていきたいと考えていますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

高齢者見守りネット委員会 委員長 石田 三枝子

エキキタおながフェスタ 2017

日時：平成29年7月30(土)

14時～ 一部開始

15時～ オープニングレモン

場所：広島市立尾長小学校



地域で守る、鎮守の杜の整備

4月23日(日) 尾長天満宮、鎮守の杜の整備が行われました。参加者は山根西町内会をはじめ、子どもと保護者、二葉中学校生徒、高校生など地元から27名、「もりメイト倶楽部Hiroshima」のメンバー32名の、59名でした。



子ども達と町内会のメンバーは本殿の裏の笹などの伐採を行いました。鎌を使うのが初めての子ども達は、苦戦していましたが

「木や土のおいがして気持ちいい」「木を切るのは初めて！うれしい」と言いながら楽しい時間を過ごしていました。中高生は、もりメイトの皆さんに指導していただきながら、東照宮の裏の木の伐採や、山道の整備を行い、気持ちのいい汗を流しました。

全員で作業を行った後は、手作りのカレーをいただきました。作業の後のカレーは、とても美味しく、中には3杯、4杯とおかわりをする子ども達もいるほどでした。



鎮守の杜整備は、今年で6年目になります。天満宮の宮司さんから感謝の言葉があり、これからも地域の皆で鎮守の杜を守って行こうと、気持ちを新たにしました。

尾長地区連合町内会事務局 山本 眞樹

尾長学区女性会会長挨拶

この度、尾長学区の女性会会長をさせて頂くことになりました太田操でございます。

不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、どうぞ皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

女性会の会員も現在218名、年々減少の傾向にあります。女性の持つ温かさや細やかさが地域活動の助けになれば、これこそが国が目指している“女性が輝く日本”につながると思います。

近頃、弱くなったと言われる人の繋がり、地域の絆が回復し、深まることの一助になれば、大変嬉しく思います。安全で安心な社会づくりのために、皆様のご理解ご支援心からお願い申し上げます。

尾長学区女性会会長 太田 操

青少協活動報告～安全マップ作り～



青少協とは、尾長地区青少年健全育成連絡協議会のことを言います。尾長地区の団体長、尾長小学校と二葉中学校長、PTA 会長・副会長、修道院院長、少年補導協助手員、指導員6名、支援協力員13名、計48名で構成されています。主な活動は月2回のパトロール。緑色のジャンパーを着用して、校区内の子ども達の安全を見守っています。最近では、PTA 会員の皆さん、先生方と一緒にゴミ拾いをしながらのパトロールもしています。

また、毎年行われる尾長小学校の「安全マップ」作りに、5月30日(火)、12名が参加しました。小学生がそれぞれグループに分かれ、保護者・先生・青少協のメンバーが各グループに入り、110番の家を確認したり、危険な箇所を自分達で確かめたりしながら、コースを歩きました。

10月に行われる二葉中学校の生徒の皆さんとのクリーンマイタウン二葉にも、毎年地域の方々も参加しています。

今年度は、新体制となり、戸惑うことばかりですが、皆さんに助けて頂きながら、子ども達の明るい声が響く町・尾長の為に、役に立つ活動につなげていきたいと考えています。

尾長地区青少年健全育成連絡協議会

会長 小川 眞由美